



再評価される「帝国海軍の至宝」と呼ばれた樋端久利雄

樋端久利雄

樋端久利雄(以下、樋端)と聞いて、どうい人物か思い浮かぶ人はどのくらいいらっしゃるでしょうか。樋端(明治36年〜昭和18年;1903〜43)は旧大日本帝国海軍の軍人で、連合艦隊参謀など海軍の中核部で活躍した人物です。

樋端は白鳥本町伊座で生まれ、白鳥本町尋常高等小学校、旧制大川中学校(現三本松高校)を卒業しました。大川中学校卒業後、広島県江田島の海軍兵学校に入学、その後、海軍大学校に進学し、いずれも主席で卒業しました。

海軍では前述のように、海軍軍令部参謀や連合艦隊参謀を務めるなど、その後の活躍も期待されましたが、昭和18年4月18日、山本五十六連合艦隊司令長官の前線視察に同行し、ソロモン諸島ブーゲンビル島上空でアメリカ軍機に撃墜され戦死しました。

当時の海軍はあこがれの対象でもあり、樋端の活躍は郷土でも注目されていました。昭和5年から同16年まで12年間、福栄村の渡瀬貞が中心となり発行された機関紙『東讃新報』に樋端の記事が掲載されています。

昭和10年11月10日発行第136号には海軍大学校卒業に関する記事、同11年8月25日発行の第155号では、『東讃新報』

の記者が東京の海軍省にある海軍軍令部で勤務する樋端を訪問する記事が書かれています。

最近では、本市の三本松高校を卒業し、海上自衛隊の横須賀地方総監として活躍された高嶋博視さん(香川大学客員教授)の著書『ソロモンに散った聯合艦隊参謀』の中で、樋端が高い使命感を持ち海軍で活躍した軍人という評価だけでなく、家族愛にあふれた人物であったことも再評価されています。

地元の言い伝えでは、樋端は帰郷した際、近所にあいさつ回りを欠かさなかったとも伝え聞きます。

高慢な態度は取らず、誰にも対等に接し謙虚な態度がうかがえます。

樋端の存在は郷土でも忘れられつつあるのは否めませんが、戦争という中で、国や郷土を想い、家族を想う人物像は、平和のあり方を考える一助となるのではないのでしょうか。



『東讃新報』

(文責 歴史民俗資料館)

募集

自衛官等募集

区分	応募資格	受付期間	試験日
一般幹部候補生 (パイロット要員含む)	30年4月1日現在 大卒程度 22歳以上26歳未満 院卒者試験 20歳以上28歳未満で修士課程修了者(見込含む)	3月1日(水)〜 5月5日(金)	1次試験 5月13日(土) (パイロット要員は13日・14日の両日) 2次試験 6月13日(火)〜 16日(金)
歯科・薬剤科 幹部候補生	30年4月1日現在 歯科 20歳以上30歳未満 で専門の大学卒(見込含む) 薬剤 20歳以上28歳未満 で専門の大学卒(見込含む)	3月1日(水)〜 5月5日(金)	1次試験 5月13日(土) 2次試験 6月13日(火)〜 16日(金)
一般曹候補生 (陸上・航空要員)	30年4月1日現在 18歳以上27歳未満	4月1日(土)〜 5月5日(金)	1次試験 5月27日(土) 2次試験 6月28日(水)〜 7月3日(月)

【問合せ先】

自衛隊香川地方協力本部  
さぬき地域事務所  
TEL 087・894・2627

JICAボランティア募集

- ① 青年海外協力隊
  - ② シニア海外ボランティア
- あなたの技術・経験を生かしてみませんか? 現地の人々と協働しながら、人づくり、国づくりに協力します。

対象 ① 満20〜39歳 ② 満40〜69歳  
(2017年5月10日時点)

※ 日本国籍を持つ人  
申込募集期間 5月10日(水)

応募方法 ウェブ応募

E-mail: jicavolunteer-boshu@jica.go.jp  
特別な事情によりウェブで応募できない場合は応募書類を送付するのでJICA四国か青年海外協力隊事務局まで問い合わせてください。

【問合せ先】 JICA四国  
TEL 087・821・8824  
青年海外協力隊事務局募集課  
TEL 03・5226・9813